

20周年
記念
特集

広報 てんのつ

No. 94

昭和46年

11月20日発行

発行・秋田県天王町役場 TEL(天王)1.42.135
編集・企画室 印刷・一日市印刷 TEL(018875)2038



輝かしい歩みと 躍動の祭典

—— 多彩に20周年記念行事 ——

町では、昭和26年11月3日に町制を施行してから、ことして20年を迎え、これを記念して10月31日から11月3日までの4日間、町公民館を主会場に記念式典、産業展、文化祭、バレーボール、駅伝など20周年にふさわしい多彩な記念行事を行なった。

町民総参加をスローガンにPRしてきたこの記念行事に、期間中延べ7千人が繰り出した。

盛況のうちに幕を閉じた記念行事を、カメラでもう一度再現してみよう。

功労者に十三名

式典で355名、5団体が表彰



▲晴れの功労賞を受けた方々(町長と記念撮影)

▷… 11月3日町公民館で行なわれた町制施行20周年記念式典の席上で、自治振興など各部門で特
▷… に貢献された功労者ら、個人355名、5団体が
▷… 晴れの表彰を受けた。

一年村職員となつてから現在まで、二十五年余つとめてい
上江川四七。

海山徳之助(七二) 氏は、八年から二十二年までの十五年間村方面委員、二十六年から四十二年までの十七年間民生委員、三十七年から四十五年までの八年間町教育委員をつとめた。追分四十九。

渋谷健蔵(六一) 氏は、二十二年から二十六年まで村議會議員、三十年から三十五年三月まで町議會議員と通算八年余議員をつとめ、三十五年四月から四十六年三月まで町議会議務局長をつとめた。不動台一〇〇の二。

安田慶太郎(六二) 氏は、二十一年民生委員になつてから現在まで、二十四年余民生委員をつとめてい。羽立一八四。二戸田チタ(七〇) 氏は、二十三年から四十年まで民生委員三十三年から四十年までの七年間町教育委員をつとめた。また町婦人会会長も十九年間つとめた。天王一九。

原田清乃(五八) 氏は、二十年に村職員となつてから四十六年三月まで二十五年余つとめた。西長根四五。

佐藤久之助(故人) 氏は、二十六年四月村議會議員となつてから四十二年六月まで十六年余議員をつとめた。

伊藤忠吉(故人) 氏は、二十六年四月村議會議員となつてから四十年十月まで十四年余議員をつとめた。

上沖中谷地二〇。
中村政雄(四八) 氏は、三十四年町議會議員になつてから四十六年二月まで、十二年間議員をつとめた。二田二一六。

石黒俊蔵(六七) 氏は、二十六年四月村議會議員になつてから四十六年二月まで、通算十一年余議員をつとめた。天王一七四。

三浦重春(四二) 氏は、三十四年町議會議員になつてから現在まで十二年余議員を続け、その間副議長を二年つとめた。さらに四十一年から四十四年まで農業委員会委員をつとめた。

伊藤清之助(四九) 氏は、二十一年村職員となつてから現在(収入役)まで二十五年余つとめてい。上江川四七。

船山毅(四八) 氏は、二十一年村職員となつてから現在まで、二十五年余つとめてい。上江川四七。

郎、藤原吉治郎、菊地徳治郎、渋谷重助、藤原直一郎、渡部政治、児玉長栄、菅生春司、渡部新一、金栄一。

行政関係

桜庭喜六、伊藤武一郎、加賀谷幸太郎、秋本龜蔵、鎌田悦郎、船木助太郎、佐々木吉太郎、児玉良之助、越前屋英三、西村弓太郎、柏崎新七、小野克太郎、桜庭喜八郎、桜庭金五郎、真井田恭賢、鎌田悦之助、米谷多一郎、藤原慶一郎、広瀬大元、中村甚助、渡部米吉、伊藤清之助、大関与喜蔵、鎌田金治、山方由佳子、三浦ツタ、桜庭福治、京谷仁太郎、沼田喜一、石川金蔵、安田亦六、目黒久治、柏崎兼蔵、沼田喜久治、武藤鈴子、柏崎寅蔵、米谷小市郎、伊藤金治郎、三浦由蔵、三浦貞雄、古山金治郎、渡部徳治、佐々木鉄雄、草階金五郎、渋谷克巳、目黒喜三郎、桜庭徳治、鎌田圭太郎、藤原三三助、三浦三蔵、滑川右馬之助、武田幸一、菊地栄治、三浦重太郎、山方武治、成田亀之助、鈴木礼吉、渋谷市太郎、森元銀治、三浦善七郎、鈴木翠、桜庭宇吉郎、佐々木喜助、佐藤節志、鎌田清一郎、木元長吉、真壁キサ、渡部ツナ、桜庭あやえ、戸田ハル、加賀谷貞子、藤原ユキ、児玉ハチ、鈴木千代、嶋崎ススキ、山寺富治、石黒兼造、船木雷治、米谷久太郎、大関良作、三浦牧男、後藤基治、畠山照雄、三浦勝視、菅生岩蔵、三浦利栄、沼田紀三、武藤守、熊谷芳子、渡辺毅、桜庭兼三郎、中道修司、畠山憲悦、畠山智恵子、田口巖、石川光男、岩谷順子、三浦文治郎、大越方治郎、安田鉄雄、伊藤寿郎、武藤キクエ、藤原稔子、今井裕、目黒チヨ、千葉静江、伊藤キヨ、佐々木武治、神田平次郎、佐藤哲司、大関与五郎。

教育文化関係

京谷仁左エ門、三浦兼吉、菊地米吉、安田未蔵、佐藤キヤ、菅生民雄、桜庭堅蔵、鎌田良樹、安田慶太郎、伊藤倉之助、戸田チタ、後藤春治、渋谷健蔵、安田一十三、吉田新悦、伊藤馨、菅生市蔵、佐藤林太郎、上法香苗、井川久一、鎌田ヤス、服部シノブ、保坂広治郎、加賀谷房三、鎌田アツ子、加藤隆敏、桜井スミ、渡部俊雄、渡部晶、庭和真、佐藤小枝子、藤原ゆき子、保坂孝、三村正、前田トキエ。

福祉関係

藤原ミヨノ、高橋貞治、石川喜代志、桜庭忠治、福田ミナ、福田富雄、中村政雄、大関栄治郎、沢畑栄吉、大貫清之助、上村藤吉、堀井佐一郎、真壁養治郎、三浦直蔵、柏崎佐吉郎、児玉喜市、藤原新蔵、伊藤庄吉、藤原勝雄、菊地貞蔵、菊地東太郎、菊地石太郎、菊地福治郎、菊地久太郎、菊地金市、三浦孫四郎、三浦五郎二、三浦久之助、吉田伝吉、三浦魚治、菅原清、吉田慶太郎、三浦友栄、三浦重春、三浦甚五郎、安田善太郎、安田秀雄、桜庭平五郎、藤原国雄、菊地政雄、菊地甚太郎、安田兼五郎、安田鶴之助、安田徳蔵、米谷嘉市郎、安田政太郎、小柳良雄、保坂竹雄、高橋新一郎、柏崎兼吉、柏崎喜市、戸田五郎兵衛、鎌田金悦郎、柏崎四郎、柏崎辰夫、金子喜代志、石川英男、戸田資郎、伊藤金一、菊地堅一郎、菊地福右衛門、菊地銀治郎、吉田理之助、吉田兼広、安田林之助、西村由蔵、桜庭兼太郎、桜庭兼太郎、佐々木定直、佐々木松之助、加賀谷豊治、佐々木吉男、加賀谷久治郎。

産業関係

石黒喜久治郎、吉田銀忠、上村利蔵、岩谷文治郎、佐藤裕太郎、後藤長治郎、薄田富蔵、菅生周助、吉田吉治郎、古山良蔵、藤原五兵衛、伊藤兼蔵、佐々木鉄蔵、佐々木良蔵、丸谷与志光、京谷周太郎、桜庭良一、海老沢勝治、鈴木喜代松、安田丈之助、三浦与治郎、佐藤栄蔵、佐々木吉之助、加賀谷清吉、藤原金治郎、児玉正、藤原菊治、桜庭専太郎、浅野惣太郎、伊藤清、藤原秀一、三浦永太郎、安田堅之助、三浦久治、三浦耕造、三浦四蔵、京谷金治郎、石黒俊蔵、鎌田和助、安東健蔵、菅生昭邦、石黒庄治、米谷修作、鎌田源蔵、柏崎辰雄、児玉惣治、嶋崎竹治、児玉茂雄、安田清吉、鈴木為春、鈴木秀夫、鈴木勇幸、石川徳蔵、菅生喜代蔵、菅生伊治、菅生伝之助、桜庭兼五郎、桜庭周光、桜庭鏡吉、藤原政男、児玉勝太郎、児玉福治、石川久米治、上坂順治、渡部運吉、三浦喜助、菊地清吉、加藤作美。

団体関係

新成川土地改良区、天王町土地改良区、天王町農業協同組合、天王町農業共済組合、東湖小学校。

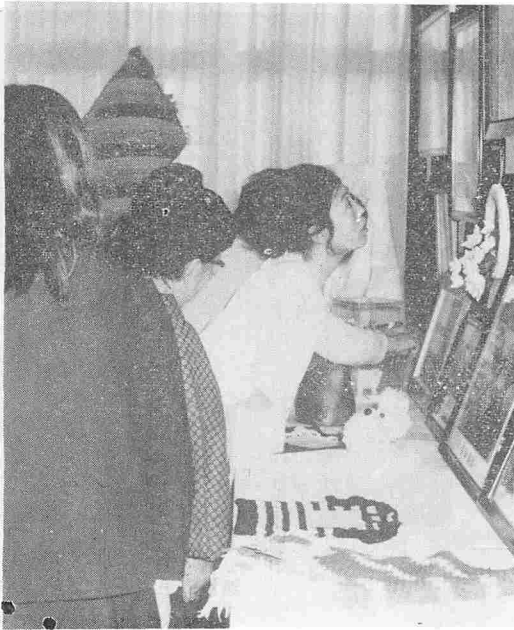
感謝状贈呈者

自治関係

菊地岩二郎、佐々木幸蔵、石黒幸蔵、船木音吉、菅生清之助、三浦兼男、中村新之助、三浦利三郎、安田寅五郎、松村政雄、伊藤邦夫、高橋留吉、鎌田堅治

にぎわった展示コーナー 産業展と文化祭

産業展と文化祭は期間中の四日間、町保育所（産業展）と町公民館（文化祭）で行なった。両会場あわせて十数種の展示コーナーを設け、参観を呼びかけた結果、四日間とも産業展の農具の移り変わり展、農家生活工夫展、文化祭の民俗資料展、生活写真展など各種展示コーナーに足を止め、真剣に目を注いでいる参観者が多く見られた。



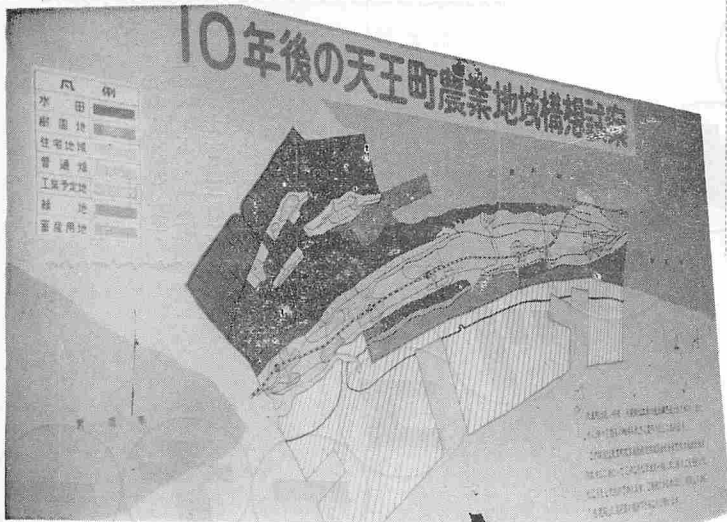
シット作品を見る目にも輝きが増す。あまり見つめると作品に穴があきますよ。（手芸展示コーナー）

衣服創作コンクール入賞者

- ▼一位 佐々木キヨエ（出戸新町）
- ▼二位 菅生妙子（中羽立）
- ▼三位 桜庭アヤ子（渋谷）
- ヤ子（渋谷）
- 小野君子（二田）
- ▼努力賞 三浦友子（大崎）
- 沼ミエ（二田）
- 渋谷農協婦人部



お茶をいづぶくちようたいます。けつこうでした。（生花展示室、茶道コーナー）



10年後の農業地域を色別で構成したパネルにも人氣が集まった。（産業振興パネル展示コーナー）



昔は、これで農作業を？今の農具からはとても考えられない。（農具のうつりかわり展示コーナー）



各種展示コーナーは大入り満員「次はコツチのコーナーさイグ」（文化祭）

今までよく保存していたもんだ。しきりに感心する。（民俗資料展示コーナー）





チャンスボール、スパイクだ。
豪快にジャンプする。
(九人制バレーボール準決勝)



「ソレー」とばかりにボールを相手コートに打つ。
無情にもボールはネットのトリコに。
(家庭バレーボール決勝戦)

タイム!! どんな作戦を練るのか? 子どもも
混じつての作戦タイムの一コマ。
(優勝の上出戸チーム)



スポーツコーナー

十月三十一日に男子
九人制バレーボール
(天王中体育館) 女子
家庭バレーボール(町
公民館)十一月三日に
は、駅伝大会(町内一
周)柔道、剣道大会(天
王中体育館)を行なっ
た。
各大会とも選手、応
援団が一体となってス
ポーツの祭典を楽しん
だ。

各大会の成績

男子九人制バレーボール

- ▼一位 出戸新町B ▼二位
- ▼天王八坂 ▼三位 江川

女子家庭バレーボール

- ▼一位 上出戸 ▼二位 塩
- ▼三位 天王金星

駅伝大会

- () 内はタイム
- ▼一位 二田 (一・二一・四
 - 三) 大会新記録 ▼二位 出戸
 - 新町 (一・二四・〇四) ▼三
 - 位 羽立 (一・二七・四六)
 - ▼四位 天王 ▼五位 三軒屋
 - ▼六位 上出戸 ▼七位 江川
 - ▼八位 追分 ▼九位 塩口
- 【ラップ賞】
- 一区 武田要一 (出戸新町)
 - 二区 出口正志 (同) 三区
 - 薄田明美 (二田) 四区 武田



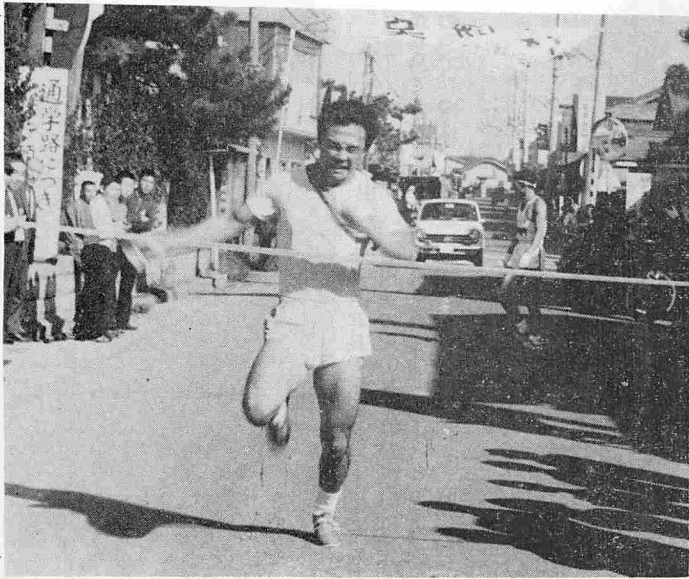
「メン、ドー」しないをにぎる手に力はいる。
観衆からは「ソコダ、イケイケ」とばかりに声援が
飛ぶ。
(天王一五城目決勝戦)

柔道大会

- 【団体戦】
- ▼一位 二田 ▼二位 江川
- 【個人戦】
- ▼一位 木元次男 (二田) ▼二
- 位 吉田秀秋 (大崎) ▼三位
- 加藤博 (二田)

剣道大会

- 【団体戦】
- ▼一位 天王B ▼二位 五城
- 目A ▼三位 男鹿B、男鹿C
- 【個人戦】各段別優勝者
- ▼初二段の部 秋武喜雄 (男鹿)
- ▼三段の部 淡路芳和 (昭和)
- ▼四段の部 山口一夫 (天王)



顔をクシヤクシヤにしながら大会新で決勝テープを切る二田のアンカー堀井政一選手(役場前)



午前十時。いよいよスタート。各チームとも優勝めざして合図を待つ(追分三差路)

民謡おさらい道場に候

□ 1日.2日に芸能祭 □

民謡おさらい 道場の入賞者

【一回目】十一月六日放映
 ▼うまい賞 渡辺文夫(羽立)
 ▼特別賞 柏崎三四郎(天王)
 【二回目】十一月十三日放映
 ▼うまい賞 三浦勝視(二田新町)
 ▼特別賞 桜庭ツナ(塩口)

十一月一日、二日は町公民館で芸能祭を行なった。

一日には、ABS秋田放送テレビでおなじみの大島清蔵氏を道場主とした「民謡おさらい道場」が行なわれ、二回分のビデオどりをした。当日は二十七人が予選に参加、十六人が決勝大会でノドを競った。

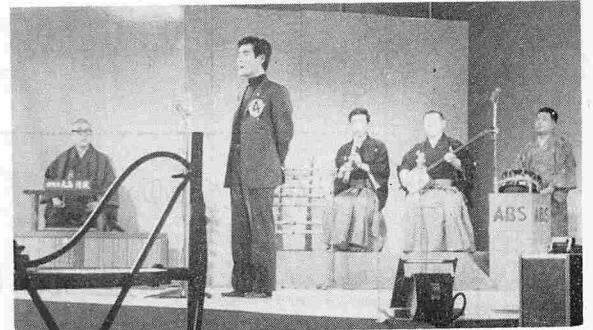
また、二日の歌謡ショーには本町塩口出身の東山晃也君が美声を披ろう。観客席からクガンパレーの激励の声が飛んでいた。



どうですか、うまく歌えましたか、チヨットあがりました。(二回目のうまい賞の三浦勝視さん)



「エカツタ、エガツタ、ナガナガシヨウスタ」大島清蔵氏の弁に笑いととも一斉に拍手。



大観衆の前で、江差追分本唄を堂々と歌う。(一回目のうまい賞受賞の渡辺文夫さん)



民謡踊り同好会で発表会

毎月第2、第4土曜日、定期的に練習を重ねています。今までの練習の成果を晴れの舞台で。



歌う東山晃也

十一月二日の歌謡ショーに本町塩口出身の東山晃也君が出演。妻恋渡り鳥でデビューした東山君に会場は、拍手とともに激励の声でいっぱいだった。



好評の舞踊競演会

各部落から二十二の踊りが繰り出され、ひとたから汗を流しながら懸命に踊る姿に、会場からヤンヤのカツサイを浴びた。「町内にこんなに踊りの愛好者がいるとは」関係者はビックリ。



どうこのスタイル

技芸学校生徒自作自演によるファッションショー。ホースをとる姿はプロ並?

伸びゆく
郷土建設は
町税完納から

自主納税で
期限内に
おさめましょう

おわび

十一月三日に発行しました天王町勢要覧の資料編中、No.19町功労者欄に米谷多一郎氏の氏名が落ちておりましたので、訂正しておわび申し上げます。

広報座談会開く

町の将来を話し合う

意欲を見せる三氏

これからの時代は、町民ひとりひとりが自覚と責任をもって町をよりよくするために、がんばっていかねばなりません。特に、次代をなうホープとして活躍が期待されている青年たちは、積極的に町政に参加してもらいたいと思います。

そこで、若い三氏に町長を囲んで、活発な話し合いをもらうため、十月十三日午後三時から、町公民館で「広報座談会」を開催した。

司会 きょうは

お忙しいところご
くろうさんです。

まず、町長から
簡単に町の将来に
ついて説明してい
ただきます。

生活環境 を第一に

町長 本町の現在おかれてい
る立場は、県の第三次総合開発
計画に従って進められており
今後、秋田、男鹿、若美、昭和
飯田川、井川、本町の二市四町
一村を中心に工業開発されてい

くと考えられ、国、県でも基礎
データを得るために、ことし
から調査を行なっています。こ
れは、四十八年まで続けられま
す。

本町では、四十年十一月に指
定された新産都市が、六年間何
ら恩恵がなかったので、大規模
工業開発構想に関しても、じゅ
うぶん検討しながらこれに対処
したいと思えます。

農業は、稲作、果樹、ハウス
園芸、畜産の四本柱で進め、工
業化と同時に土地利用の点で問
題はあるが、総合的観点に立つ
て生活環境の整備を第一に、農
村のよさと工業化をミックスし
て、公害のない住みよい明るい
町を築くためにも、じゅうぶん
検討して慎重に行政を進めてい
かなければならないと考えてい
ます。

合理化のための

広域市町村圏

司会 それでは、気軽に話し
合っていたいただきたいと思いま
す。

丸谷 九月定例会で——広域
市町村圏の構想が出ており、そ
の話し合いが始まった——と説
明されていますが、これは本町
にとって利益があるのでしょうか。

町長 これは、利害とかでは
なく秋田市、男鹿市、南秋、河
辺の行政圏で、広域消防など共
通の問題を具体化し合理化して



▲「これからは精神的教育が必要
……」丸谷氏

ゆくの目的で、町村合併とは
全然違いますので、誤解のない
ようにしてください。
また、これに対して国の制度
や交付金が四十七年度で打ち切
りになるので、いま話し合っ
ている段階です。

丸谷 そうすると合併とは関
係ない訳ですね。

町長 それは、全然関係ない
ですよ。あまり飛躍しないでく
ださい。(笑)

それより、本町はいま大きく
発展する可能性を秘めているの
で、昭和六十年を目指して「天
王市」を実現させたいと思っ
ています。

伊藤 それはいいことでは
ね。ぜひ、そうなってもらいた
いと思います。

話が変わりますけど、いま公
民館活動が活発に行なわれてい
ますね。これは大変よいことだ
と思えますが、分館の方でも地
域の人たちが交流できるような
行事をどんどんやってもらいた
いですね。

町長 分館主催の行事は、多
く実施している所と少ない分館
との格差が非常にあります。
——分館で、こういうことをや

い
が大切ですからね。
安田 主体性を持つというこ
とは、大切であるということだ
でしょう。今後も分館活動は、ど
んどん行なった方がいいと思
います。

丸谷 社会教育は充実してき
ていますね。しかし、これから
工業化が進むにつれて、精神的
な教育が必要になってくると思
いますが、いかがですか。

町長 これは、どこに標準を
合わせてよいか、ばく然として
いて非常にむずかしい問題です
ね。学問は、形に現れますが
精神教育(人間教育)は現われ
ないので、個人個人が勉強して
人間性のレベルアップをしてい
かなければならないと思いま
す。

座談会出席者

丸谷 昇 氏(塩 口)

伊藤 義勝 氏(二 田)

安田 新一 氏(出戸新町)

町長 藤原 慶三郎

司会 三浦 利栄



▲「農村のよさと工業化をミックスして
公害のない住みよい明るい町を……」
と説明する町長

(八面へ続く)

農業は必ず残す

丸谷 町では、老人福祉を重点事項のひとつとして前面に取り上げているようですが、若い世代にもプロジェクトチームのようなものをつくり、考える時間を与えると同時に、青少年教育にも、もう少しウエイトをおいてもいいのではないのでしょうか。

町長 老人福祉の場合は、長い間町のため、社会のために尽くされたお年寄りに楽しい老後を送ってもらうために行なっているものです。

これからの時代に期待するのは、青年会や農業サークルを利用して意欲に燃えている君たちのような青年ですよ。だから君たち自身で自発的にがんばってほしいですね。

伊藤 責任が重くなってきたね。

安田 我々ももっと自覚しないとイケませんね。

伊藤 僕は、農近ゼミやハウス園芸(花)でのグループ活動



▲「都会的生活になると自己中心の考え方が強くなると思う。農業は絶対必要。」
伊藤氏

をしていいますが、これから経済的に発展し、都会的生活になると、自己中心の考え方が強くなるのではないですか。

そのためには、農村のよさを残しておいてもらいたいと思います。

町長 伊藤君のいうとおり、工業化が進むとその傾向が強くなり、人間の心も荒廃してゆくような感じがします。私も歯止め対策として、農業は絶対残さなければなりませんし、残します。農村のよさは、人情のこまやかな人間性にあります。

この問題は、判断、分析、理解力の三つを養って行くような環境づくりと同時に、社会教育を進めなければならぬので、今後の行政と共に青年たちに課せられた大きな問題ではないですか。

安田 前にも町長さんは、市民の心のふれあいが大切だといいましたが、その心のふれあいを保つためにも、いまから

運動をしてもよいのではないですか。

もうひとつは、大規模工業開発に伴って農業面積、農業所得が減ることは、どのように考えていますか。

町長 農業面積、農業所得が減るのは、自然現象ともいえると思います。しかし、国、県のいうとおりになって全部なくすことについては反対です。

心のふれあいについては、社会教育の充実によって解決できると考えています。また、どんな問題でも手遅れにならないような対策は講じていくつもりです。

大規模は条件つきで賛成

丸谷 児童生徒との接する時間を多く持てるように、町出身の先生を地元の学校に優先的に配置したらよいと思いませんか、いかがですか。

町長 私の権限外ですが、地元の先生でなくて、意欲に燃えてがんばる先生なら、この問題は解決できると思います。要するに個人の執務に対する意欲ですね。できれば地元出身の先生へ、大きな期待をもっておられますか。

伊藤 そうです。これからの情熱と意識をもって公平な教育をしてもらいたいと思います。最近クローズアップされている大規模工業開発構想の青写真を見てくださいか。

町長 見えています。

安田 その構想を見て時代の流れとして、どう受け止めていきますか。

町長 臨海地区は重工業地帯

になると思いますが、出稼ぎ問題、農業人口の減少などを考えると、自宅から通勤できるような職場は欲しいし、基本的な面では賛成です。

伊藤 ここで当然、公害が問題になりますか……

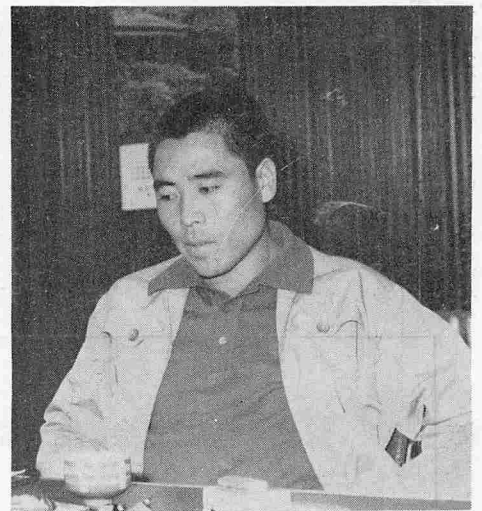
町長 現在は、公害規制もあるし、業者側でも真剣に考えてきていますね。だからといって安心してはならないのです。誘致の段階で工場を選択しなると公害のない工場を誘致したいと考えています。だから構想については、あくまでも条件をつけて賛成ということですね。人間生活が最優先であることが絶対条件ですからね。

丸谷 僕は賛成です。

公園の方はどうですか。

町長 つくるように進めています。まず、追分長沼地区に総合公園を建設することを考えています。また、湖岸方面にも用地買収などで交渉中です。工業化の方向ばかりでなく、心のやすらぎを得られるようなレクリエーション地帯は、ぜひ必要だと思って、意欲的に進めていくつもりです。

伊藤 現在 児童遊園地や老人の家などありますが、ただ



▲「自然が少なくなっていくのを見るとなんか、さみしいような気が……」
安田氏

経済的プラスばかりを考えないで、レクリエーション地帯を設けるとかというところは、大変いいことだと思えます。

安田 工業化が進むと緑や自然が少なくなっていくますね。そのために公園をつくらなければならぬというところは、僕にとっては、なんかさみしいような気がしてならないのですが……

町長 私としては、将来のやるべき姿を考え、一方では自然環境の整備を図っていかなければならぬと考えています。今後の方針としては、あくまでも人間生活を優先した施策を講じていきたいと思っています。

丸谷 住宅問題として、湖岸方面への町営住宅の増設は考えていませんか。

町長 用地は、塩口北野の所を除くに確保するよう進めていますが、当面の問題として中学校の改築、現在の町営住宅の改築、さらに公営ガス企業も四十八年頃に行ないたいので、財政面から見ても、何年度か建設するということは約束できません。

司会 まだまだ、お話をした

い点がたくさんあると思います。が、この辺で終了したいと思います。

安田 今後も、このような話し合いの場は、多く設けて欲しいですね。

伊藤 僕もそう思います。きょうは大変参考になるお話を拝聴し、ほんとうに勉強になりました。

三氏 ありがとうございます。

町長 これからもお互いの意識の高揚を図るためにも、行政に関して卒直な意見をお聞かせください。

今後もどんぐクナマの声を聞いて、民主的な行政を進めていきたいと思えます。

司会 きょうは皆さんの貴重なご意見をお聞かせいただき、ありがとうございます。

あすへ向かって
みんなががんばろう
すばらしい町づくりのため